

令和6年度 ぐんま認定介護福祉士養成研修 職場研修企画発表会 オリエンテーション《受講者用》

1 職場研修企画発表会の目的

ぐんま認定介護福祉士が目指すリーダーとして、

- ・課題への意識を持つ
- ・課題解決へのプロセスを理解する
- ・チームで取り組む事でリーダーシップを深める

上記の目的を達成するために、ケアリーダーとしての実践上の課題を明確にし、解決のための方法を立案、実施、評価、自己のリーダーとしての振り返りを行い発表する。

2 職場研修企画発表会の方法

【午前：グループ内発表】

*発表は、受講番号の小さい順に行ってください。

*発表時間は一人 8 分、一人あたりの持ち時間は 20 分です。

*発表後に、発表に対しての意見・感想、質問等、グループディスカッションを行ってください。

◆発表後の質疑応答の場面では全員が発言するようにしてください。
カンファレンスのイメージです。

【参考】

- ①気になった点 ②追加情報の確認 ③取り組み内容の改善の余地について
 - ④なぜそのような結果になったのか、考察の確認 ⑤今後、どのように何に活かすか(展望)
 - ⑥実習で学んだこと 等
- その他、自己覚知、介護過程の展開、介護福祉士としての専門性 等
発表態度・説明の分かりやすさ・伝え方等、意見交換をし合いながら、研修の総まとめとして、職場実習の気づき・学びを深め合ってください。

*意見交換等の記録は、「グループ発表の記録」に整理してください。

*発表後、聞き手は発表者に「拍手喝采⇒良かったこと」「パワーアップ⇒さらに良くなるかも」をエールをこめて伝えてください。

拍手喝采メッセージ	パワーアップポイント
* 取り組み内容、伝え方、資料のまとめ方等、良かったことを伝える	* 取り組み内容、伝え方、資料のまとめ方等、こうすると更に良くなるかも！次へ繋がるかも！等の応援メッセージを伝える

*休憩は各グループの進行状況を踏まえながら適宜取ってください。

*全員の発表が終わったら、午後の全体発表に向け、グループ内での役割を決めてください。

- ①グループ代表者(午後の発表者)
- ②代表者の紹介・発表を選出した理由・推しコメント等を発表する人
- ③代表者の発表後に挙げた意見やコメント等をまとめて発表する人
- ④司会進行役
- ⑤タイムキーパー

*午後の発表に向け、午前中の発表を踏まえて発表者がどのように発表するか(伝え方の工夫や伝える際のポイント等)や上記②③の内容をグループで話し合い、グループ員は代表者の発表をサポートしてください。

【午後:全体発表】

*発表順は A グループから順番です。

*発表の流れ

- ①代表者の紹介・発表を選出した理由・押しコメント等の発表
- ②グループ代表者の発表
- ③代表者の発表の際に挙げた意見やコメントの発表
- ④全体からの質疑応答・コメント・意見交換等
- ⑤コメンテーターからの質疑応答・コメント等

*午後の発表の際、全体からのコメントの他、以下のグループにも発表を求めます。

- ・A グループ発表時は、E グループ ①⇒②⇒③⇒④⇒⑤⇒⑥ の順でコメント
- ・B グループ発表時は、A グループ ①⇒②⇒③⇒④⇒⑤⇒⑥ の順でコメント
- ・C グループ発表時は、B グループ ①⇒②⇒③⇒④⇒⑤⇒⑥ の順でコメント
- ・D グループ発表時は、C グループ ①⇒②⇒③⇒④⇒⑤⇒⑥ の順でコメント
- ・E グループ発表時は、D グループ ①⇒②⇒③⇒④⇒⑤⇒⑥ の順でコメント

職場研修企画発表会タイムスケジュール

8:30 ～ 8:50	受付	ミーティングID: 957 8242 6225 パスコード: 160 889 *Zoom 入室時 グループ(A~E)+受講番号+名前(ひらがなフルネーム)
8:50 ～ 9:15	【全体】 ・事務連絡 ・オリエンテーション	・当日の流れの確認 ・グループ内の役割分担の確認 (司会進行・タイムキーパー、記録者)
9:15 ～ 11:40	【ブレイクアウトルーム】 グループ内発表	*午前中の役割決め *発表は8分以内、質疑応答・コメント等含め、一人 20 分 *休憩はグループごとに適宜取る *午後の発表に向けての役割決め *代表者の発表サポート 【代表者選定のポイント】 ・“発表が上手！”だけで選定理由としない。 ・取組み内容・伝え方・資料のまとめ方や成功事例だけでなく、思うような結果が出なかったとしても、学びや気づきに繋がるかどうかも踏まえ、グループで話し合う。
11:40～	【全体】 午後の役割確認	全体発表の際の各グループの役割確認
12:00～	昼食休憩	
13:00 ～ 15:30	【全体】 全体発表	*コメンテーター合流・紹介 *全体発表 *コメンテーターからの総評
15:40 ～ 16:40		研修の振り返りと今後の目標

【午前中:グループ内発表】

《グループ発表記録用紙》《拍手喝采・パワーアップコメント》

★発表者 _____ さん

グループ発表の記録

拍手喝采メッセージ	パワーアップポイント
グループ発表の記録	

★発表者 _____ さん

グループ発表の記録

拍手喝采メッセージ	パワーアップポイント

★発表者 _____ さん

グループ発表の記録

拍手喝采メッセージ	パワーアップポイント

★発表者 _____ さん

グループ発表の記録

拍手喝采メッセージ	パワーアップポイント

★発表者 _____ さん

グループ発表の記録

拍手喝采メッセージ	パワーアップポイント

★発表者 _____ さん

グループ発表の記録

拍手喝采メッセージ	パワーアップポイント

【午後:代表発表】

《各グループ・代表発表者へのコメント》

Aグループ _____さん

コメント:Eグループ ①⇒②⇒③⇒④⇒⑤⇒⑥ の順でコメント

発表者へのコメント

Bグループ _____さん

コメント:Aグループ ①⇒②⇒③⇒④⇒⑤⇒⑥ の順でコメント

発表者へのコメント

Cグループ _____さん

コメント:Bグループ ①⇒②⇒③⇒④⇒⑤⇒⑥ の順でコメント

発表者へのコメント

Dグループ _____さん

コメント:Cグループ ①⇒②⇒③⇒④⇒⑤⇒⑥ の順でコメント

発表者へのコメント

Eグループ _____さん

コメント:Dグループ ①⇒②⇒③⇒④⇒⑤⇒⑥ の順でコメント

発表者へのコメント

職場研修企画テーマ一覧

グループ	受講番号	氏名	R6個人課題（取り組むテーマ）
	3	牟田洋介	利用者へ活動を提供することによる利用者、職員、事業所の変化を見る
	4	中嶋史子	利用様とゆっくり関わる時間を増やすために今の業務のやり方をどう改善したらいいのか
	5	鹿田昇吾	OJT委員会を設置し、指導内容チェックシートを改定する
	6	猿井雅子	高次脳機能障害を理解し、Sさんの不安を探して怒りを取り除こう
	7	吉田久美子	利用者様の満足度アップを目標に主体的に働こう（スタッフの意識改革）
	8	石関隆二	教育担当職員へ教育を実施し施設内で統一した新人教員を実施していく。
	9	大手 恵	多職種との連携について
	10	白石由希子	多職種によるチームケア継続のため、カンファレンスのあり方整備
	11	山田英治	安全安楽な移乗介助方法を共有することでタイムラグや理解力の差を少なくする。
	12	清水真美子	ケアの統一を図り、介護の質を向上する
	13	浦野宏美	ヒヤリハットを活用し、気付きの重要性を学ぶ
	14	栗原早紀	接遇の再確認と向上～ユマニチュードを取り入れたケアの実践～
	15	荒木教康	職員指導方法の統一を図る（指導・基本ケアマニュアルの作成へ）
	16	唐品知恵	腰痛予防～腰に負担をかけない介助を身につける～
	17	荻野いぶき	職員全員の意識の向上
	18	藍原亜耶	介護見守りAIロボットの適切な運用で、介護職員の業務負担を減らし業務改善を図る
	19	黒内芳子	情報が現場の人に届かない、情報共有できていない
	20	本多洋子	入所者様への理解を深め、職員のケアの質の向上と入所者様のQOLの向上を目指す
	21	坂本和加	排泄ケアの統一化
	22	遠藤基久	職員の不適切ケアを予防する
	23	小山美和	時間外労働、サービス残業を減らす工夫、無駄を省くための業務改善
	24	三本由香里	アルツハイマー型認知症にメモは有効か？
	25	松坂直美	「利用者様と一緒に楽しむ」レクリエーション
	26	筑井香代	介護機器等を活用するICT、DX化の推進
	27	須田 亘	職員間で情報の共有ができるようになる
	28	防村信哉	破損や傷に対して全て施設側に丸投げするのではなく、現場で対応出来る場所を自分たちで環境を整える方法を身につけ、実践していく
	29	小川鈴香	職員間のコミュニケーション不足の解消
	30	柏崎秀一	薬剤を使用しない自然な排便コントロール